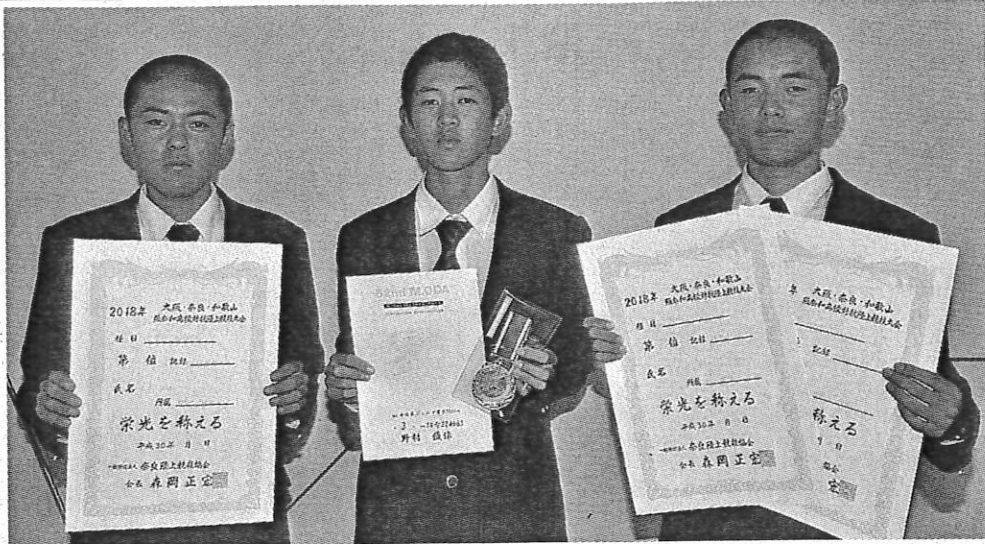


陸上競技

野村君 高工田 3位

西日本ジュニア男子5000メートル

第52回織田幹雄記念国際陸上競技大会が4月28日、広島市の広島
広域公園陸上競技場であり、西日本ジュニア男子5000メートルの部で
田辺工業高校3年の野村優作君(17)が3位に入賞した。



県外の大会で入賞した田辺工業高校の(左から)井澗洸太君、
野村優作君、井澗翔太君

西日本ジュニア男子5000
0分には高校生76人が出場。
野村君は自己ベストを17秒更
新する14分22秒65を記録し、
3位に入った。1位は大会新
の14分11秒08を記録した広島
県世羅高の選手だった。
野村君は「速い選手が出場
したレースで自分もしっかり
走ることができた。記録が出
たのはうれしいけど、優勝が
目標だったのでそこは悔しか
った」と振り返った。次の目
標である全国高校総体(イン
ターハイ)での入賞を目標に、
練習に励んでいる。

井澗兄弟が活躍 奈良の大会

4月29日には、奈良市の鴻
ノ池陸上競技場で第17回阪奈
和高校対抗陸上競技大会があ
り、田辺工業2年の井澗翔太
君(16)が男子1500メートルで
優勝し、男子5000メートルで3
位に入賞。同校2年で井澗君

の双子の兄、洸太君(16)が
男子5000メートル競歩で準優勝
した。

翔太君は男子1500メートル
(32人参加)で3分58秒73を
記録して1位。ラスト300
メートルで持ち味のスパートをかけ
て他の選手を振り切った。こ
の日2本目のレースとなる男
子5000メートル(32人参加)で
は、15分19秒83を記録して3
位に入った。「夏の総体では
1500メートルで全国大会に出場
したい」と目標を語った。

洸太君は男子5000メートル競
歩(17人参加)で23分30秒55
を記録して2位だった。この
大会の2週間ほど前から競歩
の練習を始めたといひ「失格
にならないようフォームを意
識した。次は22分台を目指し
たい」と話した。